



てんかん治療薬・  
双極性障害治療薬

# ラモトリギン錠「アメル」 を服用される患者様とご家族の皆様へ

このお薬(ラモトリギン錠「アメル」)の服用中に、重篤な皮膚障害(広範囲にわたり赤くなり、やけどのような水ぶくれ、皮膚のはがれ、ただれなどが全身に広がる)があらわれることがあります。副作用が疑われた場合には早期に適切な治療を受けてください。下記のような症状があらわれた場合には、**すぐに医師・薬剤師に相談してください。**

発疹



発疹に加え下記のような症状が現れた場合は、「重篤な皮膚障害(広範囲にわたり赤くなり、やけどのような水ぶくれ、皮膚のはがれ、ただれなどが全身に広がる)」となる可能性があります。



発熱  
(38度以上)



唇や口内の  
ただれ



目の充血



のどの痛み



体がだるい



リンパ節のはれ  
(首、わきの下、  
股の付け根など)

など

(裏面もご覧ください。)

- 医師や薬剤師に相談する際は、このお薬を服用していることを伝えてください。
- 医師からこのお薬の服用を中止するよう指示された場合は、すぐに中止してください。
- このお薬に関する患者の皆様やご家族の皆様向けとして「患者向医薬品ガイド」が下記に掲載されております。

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構「医薬品医療機器総合機構ホームページ」  
URL : <http://www.info.pmda.go.jp/>  
患者向医薬品ガイド([http://www.info.pmda.go.jp/guide\\_ippan/guide.html](http://www.info.pmda.go.jp/guide_ippan/guide.html))

- 必ず医師・薬剤師の指示通りに服用してください。
- 自己判断でこのお薬の服用を再開しないでください。
- 医師から皮膚科への受診を指示された場合は、皮膚科へ直ちに受診してください。
- このお薬は、患者様の体質や病気の症状、他に飲んでいるお薬によって、効果や作用の出かたが違ってきます。そのため、患者様の安全性を考えて、ごく少量から始め、効果の出かたと副作用のかね合いをみながら、適切な量を慎重に決めていきます。最終的な量が決まるまでの期間は、数週間から数ヵ月ほどです。短時間で量を増やすと、重篤な発疹が出やすいことがわかっています。あわてず、じっくりとお薬とつき合ってください。
- 他のお薬(市販のお薬も含む)と一緒に飲む場合は、あらかじめ、医師または薬剤師に相談してください。
- 他の病院・診療所を受診する場合は、必ずこのお薬を飲んでいることを医師に伝えるか、このお薬を医師に見せてください。
- 皮膚障害が現れる率が高くなったり、発疹が悪化する危険性が高くなるのは、次のような場合です。
  - ・ 急にこのお薬の量を増やしたり、適切な量以上に飲んだ場合
  - ・ 13歳以下の小児
  - ・ バルプロ酸ナトリウムというお薬を飲んでいる場合
  - ・ このお薬を飲み始めて8週以内
  - ・ 過去に薬疹を経験したことがある方
- このお薬を飲むと眠たくなることがあるので、運転や危険を伴う機械の操作、高所での作業はしないでください。